

# 伊勢・三河湾貧酸素情報 (H30-15号)

平成30年9月21日

愛知県水産試験場 漁場環境研究部

平成30年9月19、20日に三河湾において貧酸素水塊の調査を実施しました。その結果は下記のとおりです。

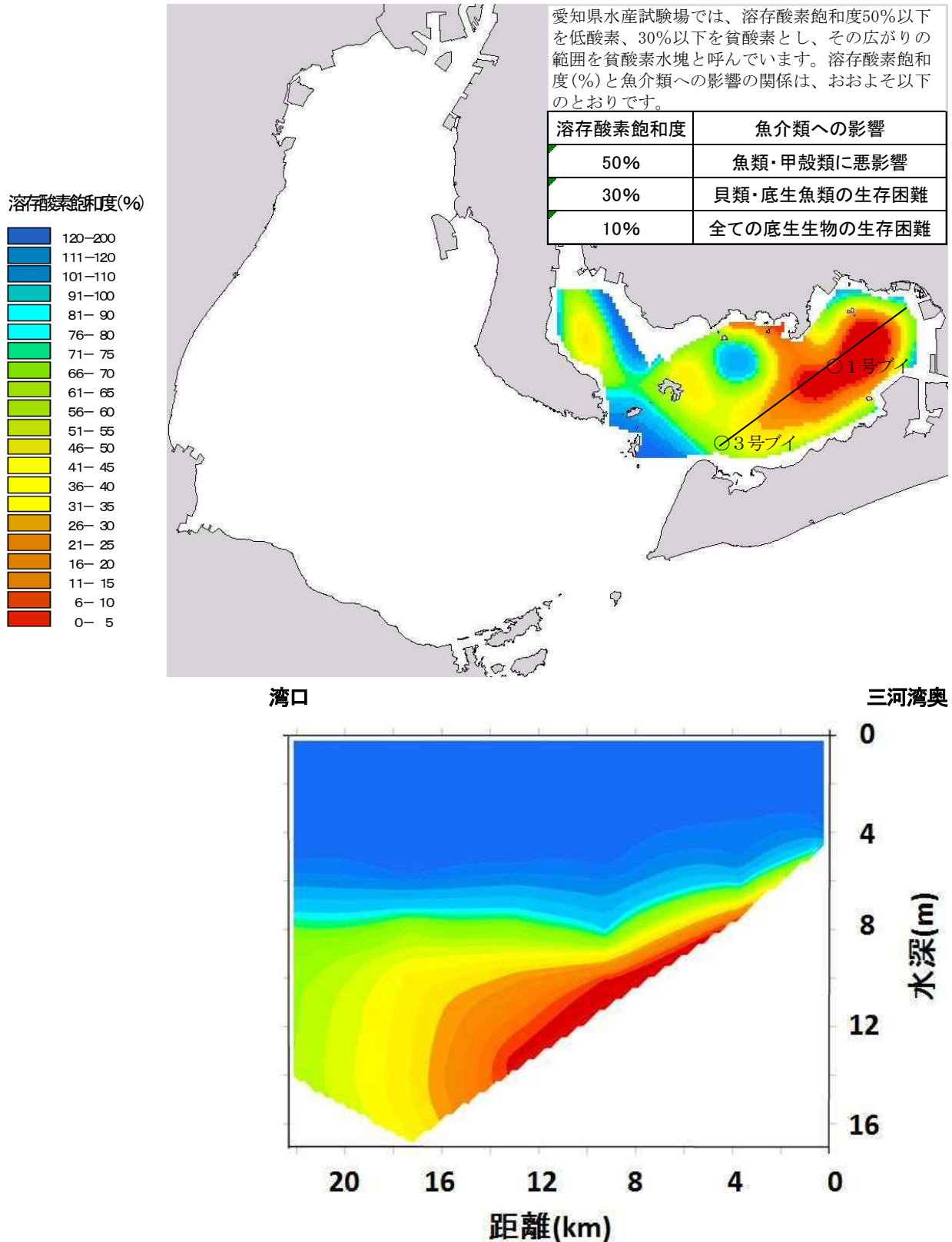


図1 三河湾（9月19、20日）底層の溶存酸素飽和度の分布（上図）及び上図直線部分の鉛直分布（下図）（愛知県「ちた」調査）

### 三河湾

9月19、20日の調査結果を図1に示しました。前回調査（9月10日）で確認された渥美湾の貧酸素水塊は、湾中央部に拡大していました。

風向風速は三河湾海況自動観測ブイ3号ブイ（福江湾沖）のデータを（同1号ブイ（蒲郡沖）の風向風速計はメンテナンス中）、溶存酸素飽和度（DO）は1号ブイのデータを用いました。前回の報告に引き続き、9月8日以降、底層で徐々に発達していた貧酸素水塊は、12日の風速5.8～10.0m/s（平均8.2m/s）の東南東から東の風が漸続的に吹いた影響により海水の上下混合が起きて、13日には一時的に解消しました。しかし、16日以降は底層で徐々に貧酸素水塊が発達しています（図2）。

降雨の影響により表底層間での塩分較差はやや大きいものの、水温較差が小さいため貧酸素水塊が湧昇しやすい状況となっています。このため、強い風が吹く場合は苦潮が発生する可能性があります。なお今後、貧酸素水塊は縮小傾向にあると考えられます。

表1 調査時の水温・塩分

	水温(°C)	塩分
表層	23.9～26.8	16.2～29.2
底層	25.2～26.3	28.5～32.4

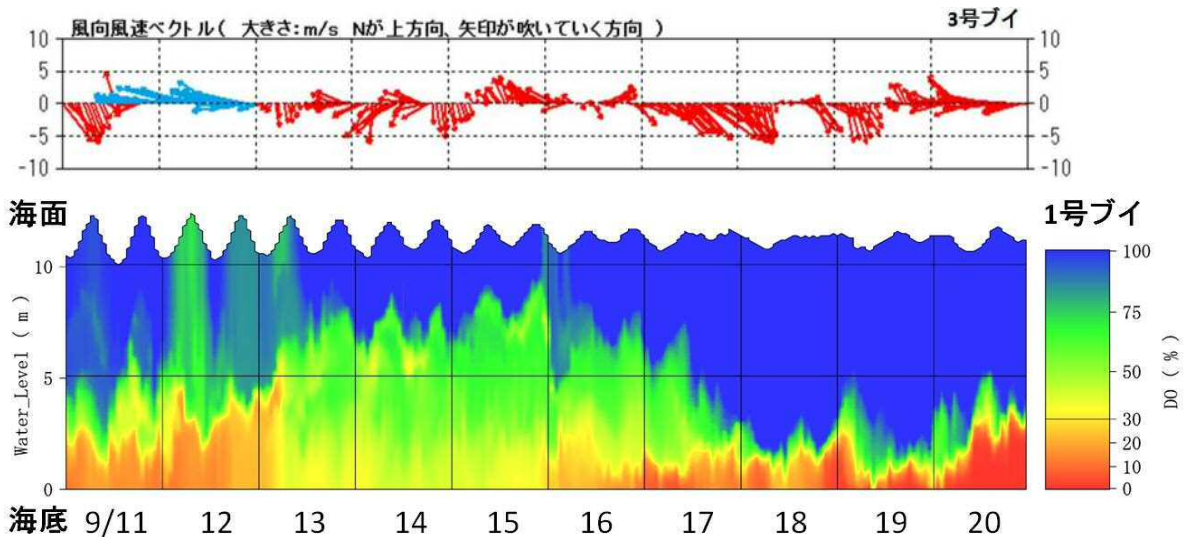


図2 風向風速の経時変化（上図）（三河湾海況自動観測ブイ3号ブイ）および溶存酸素飽和度（DO）の経時変化（下図）（同1号ブイ）

### 参考

前回調査時の底層の溶存酸素状況

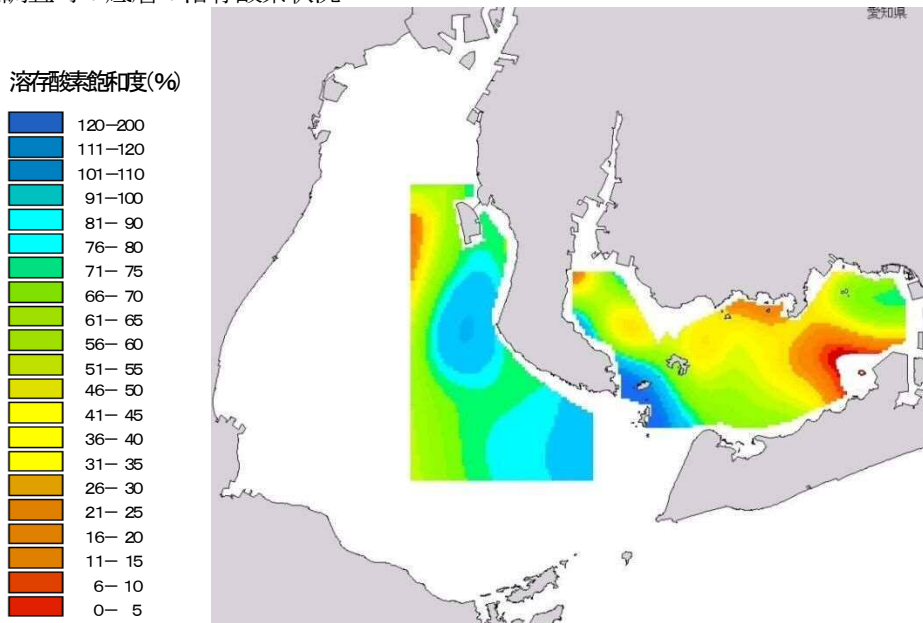


図3 平成30年9月6日（伊勢湾）、9月10日（三河湾）